学習指導案　略案様式（特別の教科　道徳を除く）

２年１組	指導者	○○○○	教科等	社会科（歴史的分野）

単元

単元名等	なぜ、江戸幕府は、長い間政治の権力をたもてたのだろうか

目標	評価規準	⇦ ※どちらかを選択し、　　で囲ってください。
知識及び技能	知識・技能	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆統一政権の諸政策の目的、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現している。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○近世の日本について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら粘り強く課題を追究しようとしている。

単元の学習展開（全１１時間）

導入	□単元の学習課題を確認し、学習の見通しをもつ
展開	□教科書や複数の資料を読み、江戸幕府が長い間政治の権力を保てた理由について考え表にまとめる ・農村や特産品の役割 ・鎖国などの対外政策と対外関係 ・江戸時代以降の日本への影響　　等
終末	□単元全体の学習を振り返り、江戸幕府の成立・存続等についてわかったことやもっとしりたいことをまとめる □歴史について学ぶときどのような資料が有効か気付いたことをまとめる

本時（４／全１１時間）

ねらい	幕府の対外政策と対外関係がその後の日本にどのような影響を与えたのかについて、複数の資料から情報を効果的に取り上げ、多面的に考察することができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連**【◆思考・判断・表現　ワークシートの記述】**）
学習過程	「めあて」 「幕府の対外政策と対外関係について、複数の資料から考えよう」 『課題』 『鎖国などの幕府の対外政策と対外関係がその後の日本にどのような影響を与えたのだろうか』 『まとめ』 『大きな戦乱のない世の中を迎え、幕府と藩による支配が確立した』 「振り返り」の視点 ・意見交流で一番納得した考えは何か

努力を要する状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
	複数の情報から必要なものを適切に読み取ることができない	資料の見出しやキーワードに着目させる
	図表に気をとられ、文章が読めない	文章部分を拡大して投影する